

資料2. 後継施設に求められる機能について

【類似施設への利用状況等の調査結果】令和2年度～令和4年度にかけて整備された道内の類似施設(5施設)

		イモッペ生活館 (むかわ町)	「ウトウラノ」 (洞爺湖町)	ポロシリ生活館 (新冠町)	春採生活館 (釧路市)	有珠生活館 (伊達市)	
① 施設の 基本情報	延床面積	544.01 m ²	494.38 m ²	478.92 m ²	430.61 m ²	256.71 m ²	
	各機能の 整備状況	各種活動を行える集会室	○	○	○	○	○
		調理室	○	○	○	○	○
		図書スペース				○	○
		生活相談専用スペース				○	
		囲炉裏		○	○	○	
		展示	○	○	○	○	○
女性や子どもが利用しやすい機能		○(授乳室を整備)					
② 施設の機能 や利用実態 について	①舞踊の練習	○	○	○	○		
	②アイヌ語教室	○			○		
	③民具の複製、工芸品の制作	○	○		○		
	④アイヌ民族の生活相談事業	○			○	○	
	⑤アイヌ関連団体の集会	○	○	○	○	○	
	⑥伝統儀式		○	○	○	○	
	(具体的な活動内容)		チセノミ等	先祖供養祭(イチャルパ)	春採コタン祭、カムイチェブ祭、アシリ パ・チセノミ		
	⑦その他アイヌ関連		○		○		
	(具体的な活動内容)		アイヌ文化体験教室(一般町民向け)		トンコリ練習		
⑧アイヌ関連以外	○	○	○	○	○		
(具体的な活動内容)	葬儀、地域自治会等の 会合	介護予防事業(町主体)、町内刺繍サークル活動等	貸館事業	詩吟、楽器演奏、ふまねっと、民生委員 等の会議	勉強会(アイヌ民族の子供、アイヌ民族 以外の子供も対象)		
③ 施設全般のレ イアウトや使 い勝手につ いて	①駐車場の台数 (駐車場台数が不足する場合)	32台(うち身障者用1 台) -	14台(うち身障者用1台) 利用団体が重なるなど、利用人数が多くなったとき	20台(うち身障者用2台) なし	24台(うち身障者用1台) -	36台(うち身障者用1台) -	
	②観光客等が訪れる想定	想定していない	想定しており、アイヌ民芸品の展示コーナーや「白井柳治郎」氏の功績を紹介するパネルを設置している。	想定している (小規模ながら展示スペース 確保)	想定していない	想定している ・海水浴客のトイレの利用も想定 ・パークゴルフ場利用者が使用しやすい ようにトイレにも外から入ることができる 玄関を設置し、休憩スペースも開放。	
	③アイヌ民族の方が利用しやすいレイアウト面での配慮	アイヌ関連の展示コーナーの設置	アイヌ協会等はアイヌ研修室を利用し、一般利用などでは会議室を貸し出し。予約が重なったときなどは一般利用の方にもアイヌ研修室を貸し出すこともあるが、基本的には会議室を案内。	なし	アイヌ民族の方が使用する文化伝承室と一般の市民が使用する地域交流室、多目的室を用意し、利用内容によって部屋を使い分けられるようにした。	アイヌの高価な物品を保管している部屋もあるため、一般の方が勝手に入らないように全ての部屋を鍵付きにした。	

	イモツペ生活館 (むかわ町)	「ウトウラノ」 (洞爺湖町)	ポロシリ生活館 (新冠町)	春採生活館 (釧路市)	有珠生活館 (伊達市)	
④屋外にヌサ(祭壇)など設置しているか	設置していない	チセノミ等の儀式実施時は設置しているが、平常時は管理の都合上、屋外に祭壇を設置していない。	設置している	設置している	設置していない	
⑤アイヌ民族関係団体の活動用具などの常時保管場所	施設内に確保している	洞爺湖アイヌ協会の儀式用具や着物などを制作するための収納が確保されている。	施設内・敷地内倉庫に保管	確保している	施設内に確保している	
⑥施設のレイアウト・使い勝手について利用者からの意見や苦情等	なし	苦情等は特になし。 アイヌ研修室の天井が2.5mほどの高さのため、儀式の後アイヌ舞踊を行う際に、長い棒を持って行う種類のものが実施できないことがあった。	なし	厨房のシンクに蛇口を2つ設置してほしい	特になし	
④施設の運営について	①年間の利用者数	2,000人	令和3年度 1,626人 令和4年度 3,139人	見学者536名 アイヌ関係者利用404名 貸館・事業44名 合計 984名 ※令和4年9月～令和5年10月末の実績値	2,399人 ※令和5年4月～11月末の実績値	利用件数 87件、利用者数 424名 ※令和5年1月から11月まで
	②アイヌ民族の方が利用しやすい運営面での配慮	特になし	2月ごろに次年度の予約見通しや年間利用の予約をある程度とりまとめており、その際にアイヌ協会関連の利用、自治会利用、役場・関係団体の事業利用、一般利用の順で予約枠を優先的に埋めるようにして調整している。	特になし	アイヌ民族の方が優先的に使用できるよう、管理人が調整を行っている	アイヌ協会以外の利用者がある場合は、アイヌ協会と相談の上、利用承認するようにしている
	③利用者の宿泊について	認めている (団体活動等の利用で宿泊が適していると認められる内容であった場合)	想定されていない(事例がない)	生活館条例において冠婚葬祭での宿泊は可能	認めていない	認めていない
	④その他利用者から多いニーズや苦情等	なし	自動販売機の設置を望む声が多かった。(R5.11月末に設置)	特になし	特になし	特になし

【施設に必要な機能やレイアウトを検討する上で考慮すべき事項】

①活動・機能について

- ・後継施設で行う活動として以下のような活動が想定されるが、その他に想定される特殊な活動はあるか。

(舞踊の練習／アイヌ語教室／民具や工芸品の制作／伝統料理の調理／儀式の伝承／子どもの学習)

②後継施設の集会室について

- ・各種活動を行う集会室について、どのようなことに配慮すべきか。

(例：集会室の大きさ、天井高のイメージ、必要な設備(囲炉裏等) など)

※洞爺湖町からは「アイヌ研修室の天井が2.5mほどの高さのため、儀式の後アイヌ舞踊を行う際に、長い棒を持って行う種類のものが実施できないことがあった」と回答を頂いています。

③アイヌ民族への配慮について

- ・アイヌ民族とそれ以外の方が快適に利用するために、どのような配慮が必要か。

(例：レイアウトの工夫(専用のゾーンの設定)や運営面での工夫(優先予約枠) など)

※洞爺湖町や釧路市の施設では、アイヌ文化関連の活動でのみ利用可能な部屋を設けています。

④女性や子どもの利用しやすさについて

- ・アイヌ関連施設として、女性や子どもが利用しやすい機能としてどのようなものが想定されるか。

⑤その他

- ・後継施設の整備にあたり、その他どのような事項に配慮すべきか。